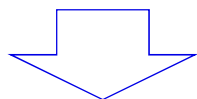


“はじめての**Still**”

StiLLとの出会い

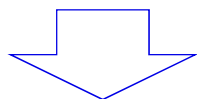
2018.8 同業界の友人からExcelのちょっとすごいのがあったと聞いた



- ・ Googleでみた記憶がある
- ・ このところ業務改善でRPAが浮上、Excel業務自動化も

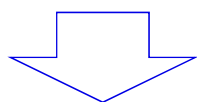
2018.8 「StiLL 体験セミナー」に参加

体験版をインストール、でも忙しくて3~4回しか試せなかった・・・



- ・ 一通り、言われるままに触ってみた。
- ・ 職業柄・・・何ができるのかはもちろん理解できた。
- ・ 活用できそうな業務もイメージできる。

2018.11 「事例研究フォーラム」に参加



- ・ 職業柄・・・具体例だと、イメージしやすくなる。
- ・ でも、ホントにそんな簡単にできるのかな？
- ・ 自分でも使えると思う、よし！

再チャレンジで体験版を再インストール～、もう一回やり直し！

2018.12 「StiLL デザイン研修」に参加

- ・ 実際にやってみると、何ができるかよくわかる。
- ・ やはり、難しい処理は組立が難しいよ！
- ・ ちょっと「センス」と「やる気」は必要だね！

いま、仕事に求められているもの？

いま、仕事に求められているもの？

「早く帰れ」ってこと？

現場を知らないから…

残業しないと、お金が…

「働き方改革」
業務改善
とか言っ
ているけれど…

今までやって来てるよね…

結局、意識の問題じゃ…

システム化してくれたら…

永遠の合言葉

機械化

合理化

自動化

ロボット化

効率化

BPR

難しいことはさておき、今回は自分のことだけ考えてみましょう。
誰もが、毎日、長時間、何も考えず使っている…

そうです、Excelがテーマです。

わが友 Excel ?!

わが友 Excel ?!

仕事でExcelを使わない人、まずいないでしょう！

一日中、Excelが立ち上がったままの人、たくさんいるでしょう！

自分はExcelを使いこなしていると言える人、まずいないでしょう！

えっ、いますか？

Excelを覚え始めた頃…

- 数値の入力
 - コピー&ペースト
 - 表作成、罫線
 - セルの挿入、削除
 - 図形の作成
 - 印刷
 - SUM関数
- などなど

無意識に使える今は…中級

- 条件付書式
 - フィルター、並べ替え
 - 串刺し計算
 - グラフ作成
 - アウトライン
 - ピボットテーブル
 - IF関数、VLOOKUP関数
- などなど、まだまだ

まだ何か？
使いこなせて
いない…

それは、
知識でもなく
技術でもなく
慣れでもない

Excelを
紙と鉛筆と電卓の
代わりとしてだけで
使っているからです。

紙と鉛筆と電卓だけではない Excelの使い方脱皮



コピペからも

ボタン1つで自動化目標に?!

所詮、単純なことの繰り返しだし…

操作を忘れて
しまう!

覚えるのが難しいのではなく…
大変なだけ…

他の人が実行
できるように!

だからコンピュータに覚えさせる…
それがプログラムですよね。

だけど!

マクロの記録やってみた・・・！

- ◆ 何となくできたけど、結構いけるかもでも何だか使えない…
※手操作を馬鹿正直に再現してくれるのだが…
- ◆ 登録できない機能がある・・・中途半端になる感じ
外部データの取込み等
- ◆ 直そうにも、どこをどうしたらいいのか？
さっぱり分からない…

VBAの勉強もチャレンジした・・・！

- ◆ やっぱりそんな時間はとれるはずなく、3日であきらめた！
- ◆ コンピュータ言語だから、やはり専門家がやることかな…？

プログラムは
やっぱりむずかしい

それが昔の私でした！

そして、あなたはとうですか？

先輩、同僚や部下にいませんか？

この業務改善・自動化の時代に

いい解決方法は無いものでしょうか？

ITビジネス活用を目指すビジネスユーザーに
プログラムリテラシーが必須の時代です！

プログラムリテラシー

業務担当の想い

Excelの実務の「隠れたムダ」と意識する

毎日の実務

Excelの難しい操作を覚えると、その操作が仕事になってしまう！
それだけ無駄も増えているということ…

なぜなら、

難しい処理ほど**繰り返す**のは、より大変だし…

難しい処理ほど**連携を理解**するのは、より大変だし…

難しい処理ほど**処理順序**を覚えるのは、より大変だから…

①繰り返しを
「省く」

②つながりを
「結ぶ」

③処理順序を
「覚える」

手操作じゃなくて…

Excel 自身が
覚えてくれば
解決できるのに…

Still

登場です！

チーム内の
誰かに

チームリーダーの想い---Excel業務の扱い

いつも同じようなExcelの操作 めんどうだし、忘れてしまう！
誰かに同じようにやってほしい…。

なぜなら、

リーダーだけれど自分でExcelを使いこなす事が必須…

仕事のノウハウを活かした仕組みをExcelで作成・表現…

環境変化に対応、仮設検証するための変更・修正は任せられない…

①ボタン1つで
実行できる。

②精通していない誰でも
操作でき仕事を任せられる

③プログラムの概要を渡せば
作成・修正が他の人に頼める

手操作じゃなくて…

Excelだけでは
むずかしい
ビジネスツールを
作って
誰でもできるように

Still

登場です！

StiLL にチャレンジ！

イメージを実体験するため
StiLL体験セミナー・チャレンジセミナー
Excel自動化プログラム作成セミナー
StiLLデザイン研修で

実際に触れてみましょう！

「活！Excel！」～ StiLLでExcelをパワーアップ

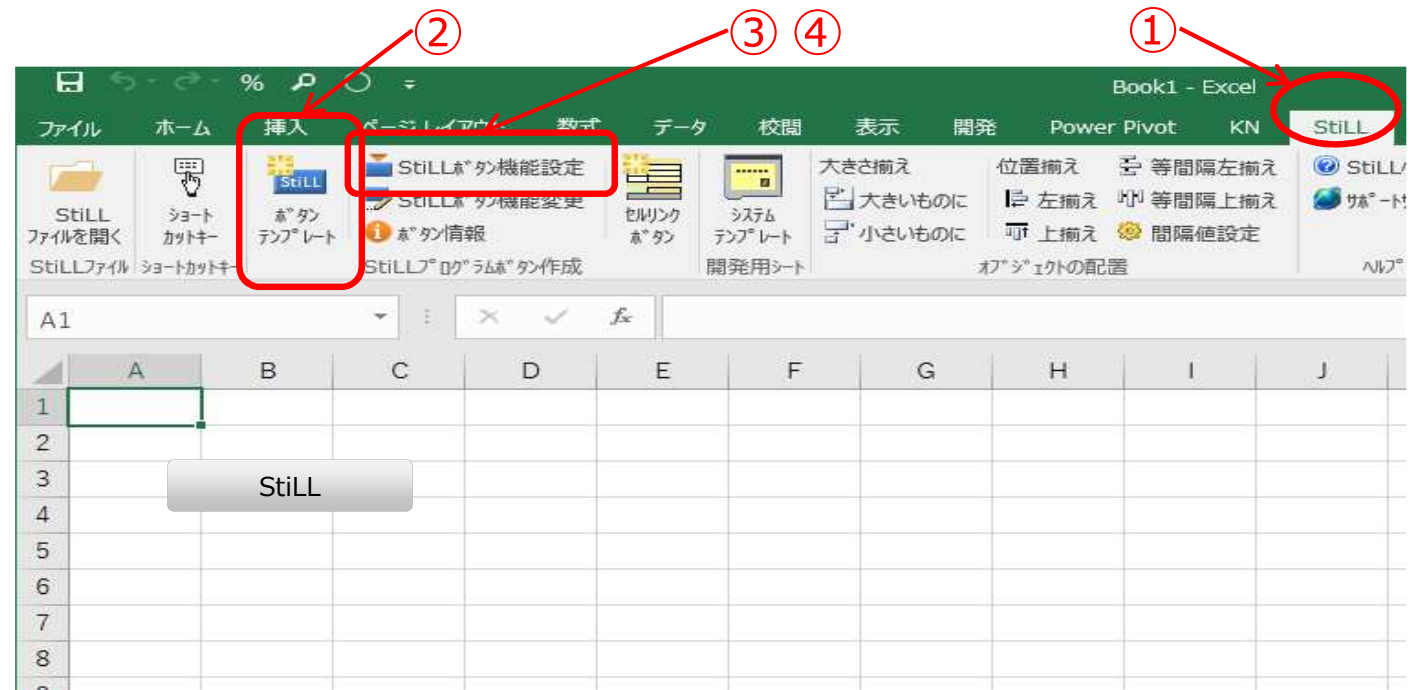
StiLLで解決できそうだ！
そう思った！

その解決方法

① 繰り返しを
「省く」

② つながりを
「結ぶ」

③ 処理順序を
「覚える」



解決ステップ～Excelに覚えさせたい処理に気づいたら…

- ① StiLLタブをクリック！
- ② ボタンテンプレートをクリック！
- ③ StiLLボタンに機能(処理)を設定！
- ④ プログラムボタンを更に作成・・・ボタン連続実行！

これが基本！

StiLLの核心は、Excel操作ボタン化機能と理解した！

Excelの操作は…

使う人が、

- 処理機能を理解したうえで…
- 得たい結果に対応する…
- メニューやアイコンと結び付けて…
- つながりや順序を思い出しながら…
- 結果を確認しながら繰り返し…

メニューか
アイコンを
選択し…

マウスで
クリックするか、
キーボードから
入力する…



この一連の「人 + Excel」動作を ボタン化！

いわば「StiLL」ボタンに機能を割り当てる = Excelの処理を記憶する…なんです！

StiLLプログラム化の手順

◇ まずExcelで作る(数式も)その操作をStiLLボタン化する

手順・・・ ①まずExcelで作成をする(関数設定・Excelのリボンにある機能操作をする。

②Excelが自動計算をするものは関数で

③Excelのリボンにある機能操作の処理はStiLLコマンドを探して設定

④StiLLのボタン連続実行機能を設定→完成

※条件分岐、繰返し処理を上記連続実行機能に必要な応じて混ぜる。

例 :データブック分割

データを取込み→フィルター→ブックにコピー→貼り付け→名前を付けて保存

→ブックを閉じる 等をStiLLボタンで作成 そのボタンを連続実行StiLLボタン化

※Excelの下記の機能はそのまま活かし、足りない機能、StiLLで強化されたものはStiLLプログラムを作成します。

StiLLプログラム化の利用コンテンツ

※利用するExcelの機能

必要なExcel機能

- ◆Excel関数10~15 IF、 VLOOKUP関数も◆データの入力規則◆ピボットテーブル
- ◆セル・図形の書式設定(StiLLも可)◆印刷(StiLLも可)◆グラフ
- ◆名前の定義(StiLLも可) ◆条件付き書式 ◆シート・ブックの保護(StiLLも可)
- ◆ウィンドウ枠の固定◆オプションボタン・チェックボタン・コンボボックス等

あとで「StiLL」の会社の人に便利なExcel機能はそのまま活かし
Excelで不便な機能・システムにならない機能を「StiLL」化したと聞きました。

※利用するデータの種類と内容

必要な知識

- ◆データベースデータ◆Excelデータ◆CSVデータ◆テキストデータ
- ※余裕あればAccessのテーブルとクエリーを勉強してみましよう

※利用するネットワーク・フォルダー・ファイル

必要な知識

- ◆エクスプローラー◆クライアントサーバー◆オンラインストレージ◆クラウドDB

ボタン機能をもう少し理解します…

ボタン機能には、それぞれに以下のような「処理条件を登録する」フォームがあります。

設定ナビ
上から下へ

設定ナビ
上から下へ

設定ナビ
上から下へ

Excelで操作してきた事を
ボタン化

Excelでできれば
エンドユーザにも
楽々できそう！

最初は少し戸惑いましたか…

いずれも、メニュー、コンテキスト、ショートカット、アイコンクリックなど、

無意識に、指先の動くままに手操作してきたことばかりだと分かりました！！

ビジネスに役立つ 業務自動化やビジネスツールを作る

ビジネスユーザーコンピューティング

久々にEUC(ビジネスユーザーコンピューティング)について
考えました。

というか、「**StiLL**」に出会って
考えさせられた？

自分自身がエンドユーザーの立場で、
そして、あなたのチームの方のそれぞれの立場で、

ビジネスを推進管理する人の
ビジネスユーザーコンピューティングを考えてみましょう！

「何ができるか？」より
「何をするか！」

「何ができるか？」より「何をするか！」

毎日・毎週・毎月、同じ操作を行っている。

- ✓ 毎日、複数箇所(他シート、他ブック)に同じ値を入力する。
- ✓ 週間実績の合計行だけを別ブックにコピーする。
- ✓ 部全体の集計表に各チームが実績値を入力する。
- ✓ 月が変わったらブック名を変えて新しい月次集計表をコピー作成する。

いろんな種類に加工してアウトプットを行っている。

- ✓ 毎日・毎週、ピボットテーブルやグラフを更新する。
- ✓ データが更新されると、フィルタや並べ替えをやり直す。
- ✓ 担当者ごとの実績値を随時、抽出・集計する。
- ✓ 今日・今週の実績だけを表にして印刷したいする。
- ✓ リンク貼り付けのデータをチェック、数式を確認する。

他のシステムとデータを連携している。

- ✓ DBサーバ(DBMS)やAccessから日々のデータを取得する。
- ✓ ExcelやCSVなどのテキストファイルでデータをやりとりする。
- ✓ 他ブックのシートから条件を指定してデータを選択・抽出・コピー・貼り付けする。

まず自分の無駄を探してみよう！

自分の無駄をキーワードにしてみる

無駄のキーワードと一致するボタンを探してみよう！



StiLLボタン
機能設定を
クリック

手操作を
思い浮かべて
比較してみる

「機能設定ボタン」に触れる！

最初は分かりにくいかもしれませんが、
3回やれば分かります、自然に覚えます！

エクスプローラーから

- ① フォルダを選択
 - ② ファイルを選択
- Excelが開いたら
- ③ シートを選択

項目式作成は、
得たい値の「列の選択」
* セル範囲の1行目

項目式作成は、
得たい値の「行の選択」
* 抽出する行の条件

BtMergeの作成

ボタンの見出し

C:\Users*伸樹*\Documents\0-バックアップ\1-日常\

フォルダ

ファイル名

対象シート名

元データ範囲

項目式範囲

検索式範囲

出力セル位置

出力範囲名

自分の得たいデータが
どこに有るのか？

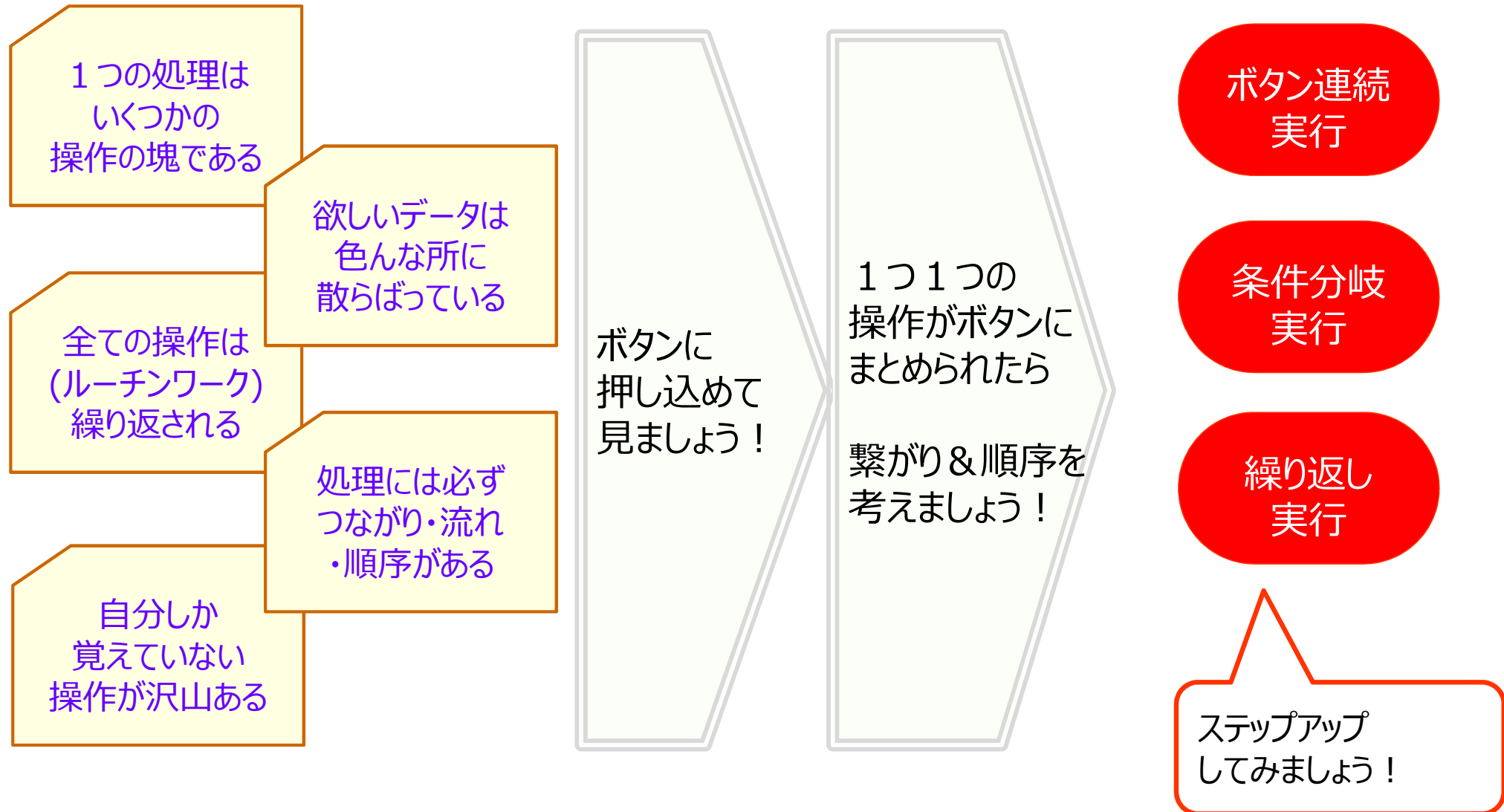
- ① セル範囲を指定
- ② 得たいデータの項目名

出力セル位置とは、
取得した値を書き出す
「貼り付け位置」

後に続ける処理のため、
取得したデータ範囲を
「名前定義」

いつも無意識に行っているキーボード操作が、自然に思い浮かびます！

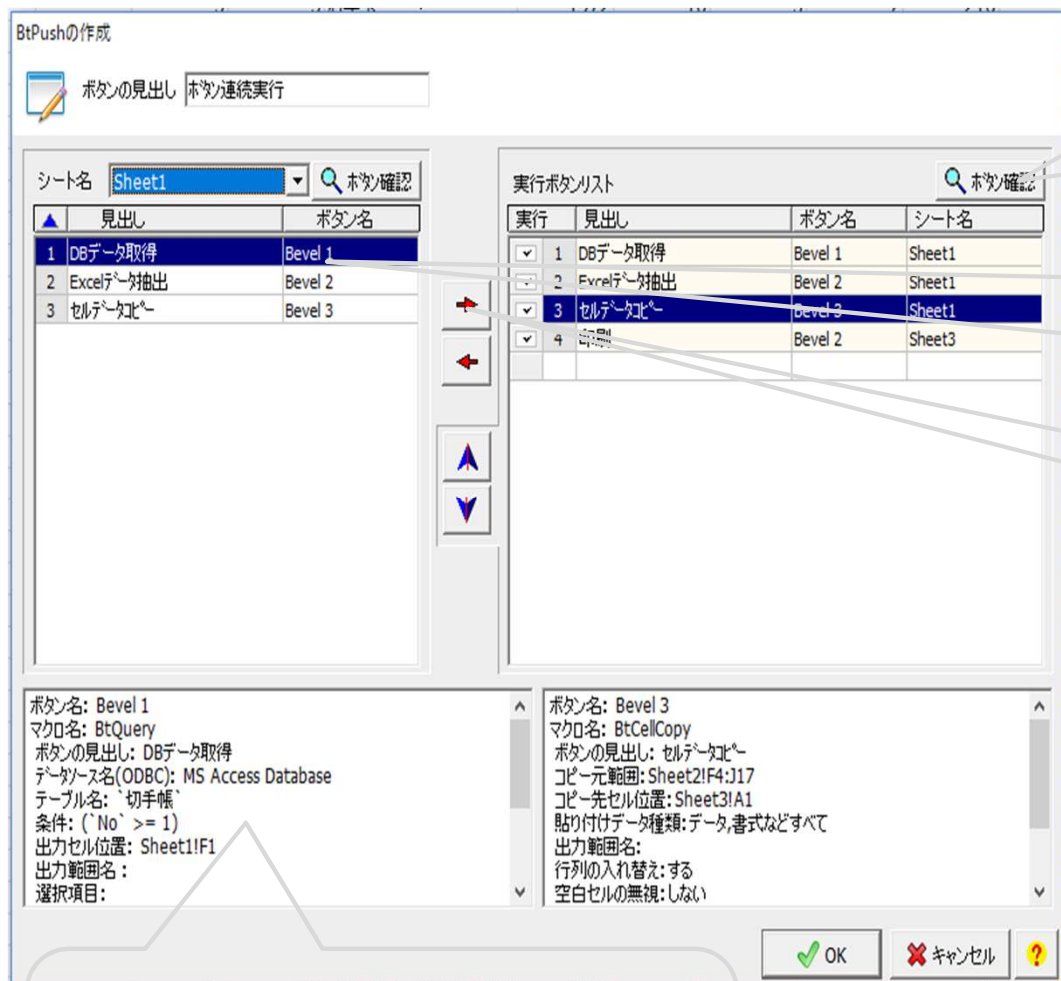
ボタン設定を地道にやってみました！まだまだ途上だけど… 気が付きました！



気づきを具体化して解決に導きましょう！

「ボタン連続実行」に挑戦！

1つ1つのボタン設定ができるようになったので挑戦してみました！



ボタン1つに1つの処理が
完結するように割り当てました。
効率よくするため連続で実行します。

左側に作成したボタンが表示されます。
(ボタンを貼り付けた
シートごとに出ます。)

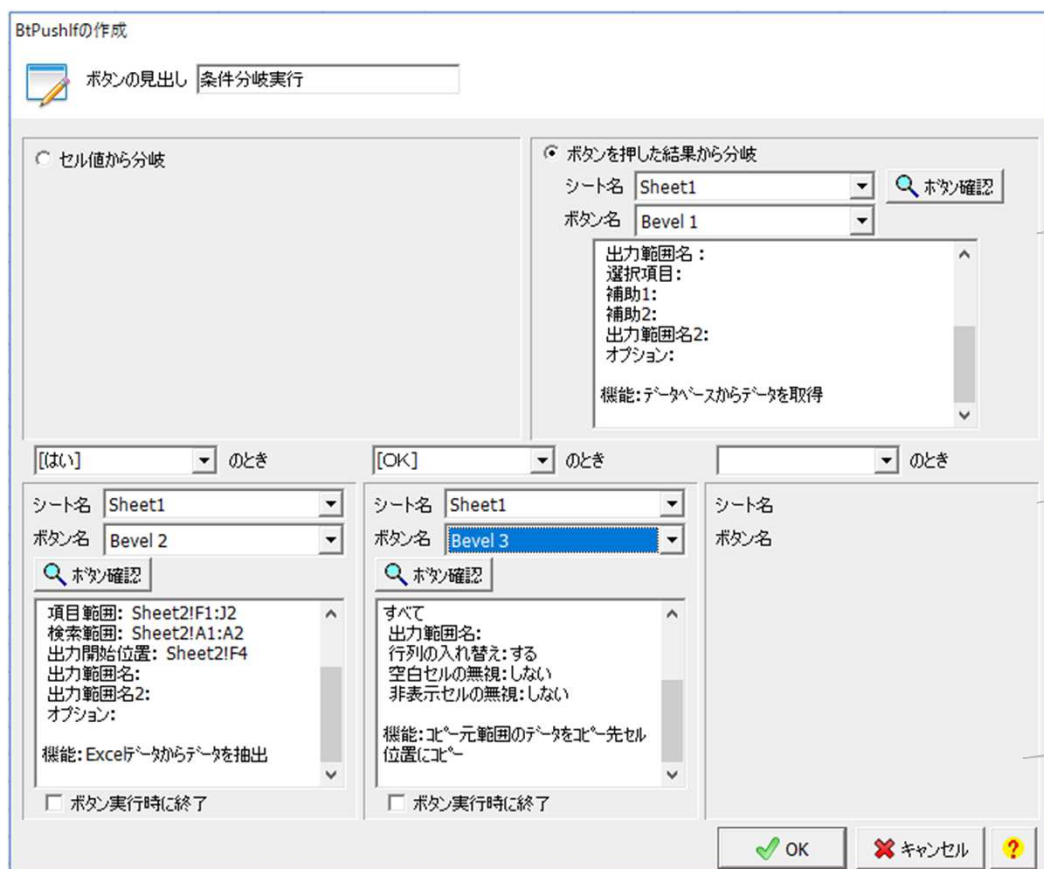
赤矢印で
連続したいボタンをセレクト、
青矢印で
実行する順番に並べ替えます。

次の条件分岐との
組み合わせで
仕上げのステップと
なるようです！

下段には選択しているボタンの
ボタン情報が表示されます。
処理の内容が確認できます。

「条件分岐実行」に挑戦！

1つ1つのボタン設定ができるようになってから挑戦してみました！



条件分岐と言うと、IF関数を思い出します。IF関数は計算(論理)式で分岐します。

条件分岐実行ボタンは、条件式に相当する情報を、ボタンに登録します。

IF~のような論理式ではないので、条件の設定状態がどうなっているのか、日本語の自然表現で一覧確認できます。

操作や具体的設定は、「StiLL体験セミナー」「StiLLデザイン研修」オンラインセミナー受講がおススメです！

「連続実行」「条件分岐実行」「繰り返し実行」はマクロの作成を伴う複雑な仕組みです。これをStiLLがより簡単に実現してくれます。

次は「繰り返し実行」に挑戦する予定です！

ビジネスユーザー 業務改善・効率化 補足資料

Excelは我々の道具！
様々活用し、ITビジネス活用を推進したい
仕事の整理・仕組作り、社内外のデータ活用二重入力不要に

ビジネスユーザーの
「StiLL」プログラムリテラシーは業務改善・働き方改革実現の道具です。
業務改善・様々な課題を解決します。

Excel仕事とEUCに必要な条件…まずプログラムリテラシー向上

自分のExcel業務のどこに無駄があるか、常に意識すること。

どう改善したら楽になるかを考えながら今の処理を行うこと。

Excel操作の習熟、関数の学習を継続努力すること。

自分が使うだけでなく、次工程を考慮にいった業務改善すること。



部下・同僚・上司にも同様の努力をしてもらうこと！

ユーザーの努力なしに成果を得られることはないでしょう！
どんなに優れたソフトウェアであっても…

最後に、“その” Excel仕事とEUCについて考えた。①

その仕事、あの人(私)しかできないんです！

なぜ？ 難しくはないんですが、パターンがいろいろあって…

じゃあ、あの人しか“できない”じゃなくて、
あの人しか“知らない”ってことじゃないの？

後輩に引き継ぎたいんですが、時間がなくて…

でも、解決すべき“課題”なんだから、
一度は“やって”みないと解決できないのでは？

担当が変わるたびにやらなくてはいけないので
一度…というわけにいかないんです。

じゃあ

いずれにしても使っているのは“Excel”なんだから、
“Excel”に覚えてもらえば一度でいいんじゃないの？

えっ、そんなことができるんですか？

できるか再確認・・・「StiLL」に聞いてみよう！！

最後に、“その” Excel仕事とEUCについて考えた。②

Excel業務を自動化できる「StiLL」って製品があるんですが…

システム部へ
問い合わせ

マクロでできるから必要ないよ、コストもかかるし…

マクロは難しいって聞きましたが、ユーザが作れますか？
システム部さんはもちろんできるんでしょうねえ～

全社システムが忙しくてEUCの面倒まで見られないなあ…(汗)

今やっているExcel操作をつなげて手順を登録できるんです。
やりたいことを簡単に定義できそうなんです…

じゃあ

その製品を評価する時間がなくて…申し訳ない(汗)

“業務アプリはユーザー部でできそうです、
“頑張ります” ネットワークとデータ等のサポートお願いします。

これでOKしてくれたら、
いいシステム部です、多分？

いろいろ教えてくれるか「StiLL」に聞いてみよう !!

いろいろ教えてくれるか「StiLL」に聞いてみよう !!

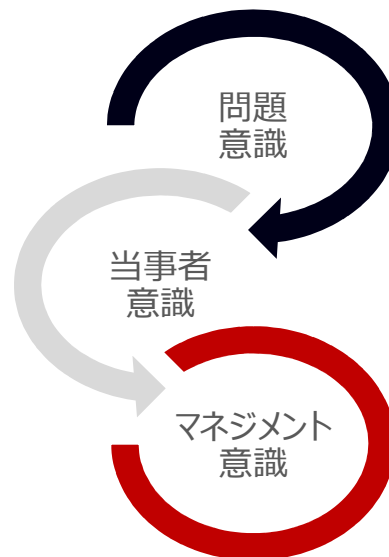
「StiLL」の回答

システム構築考察

ユーザー主導型システム構築

StiLL

3つの意識と「StiLL」で明日のビジネスを創る



ユーザー主導型システム構築

Still

■ビジネスは生き物

当然ソフトウェア完成後も改善要

むしろ完成してから始まる!!

■業務と人の融合

■人間中心 情報システム

ユーザー主導型システム開発 3つのポイント

Key for Success

Still

- ① ユーザーと技術者の共通会話をもち。
- ② システムイメージ等はユーザーで、
アプリデザインはユーザーから・・・Stillプロトタイプも
- ③ データベース・ネットワーク・セキュリティ
は技術者担当共有で推進

適合度・納度の高い 使えるシステム実現!!

開発コラボレーションを実現
Excelと『StiLL』がそれをコネクします。



業務ノウハウ入りプログラム完成→成果を生むシステム
Excelで相互理解→責任者・ユーザーと技術者で協調開発

テクノロジー提供側に一言

- もっと我々に技術・言葉が
近寄ってきてほしい！
- 実務をしらない
大規模発想のものは使えない・・・現実は違う
- システム化は、規模、業務に応じた
適切で、妥当な投資金額にしてください。

これからの時代の
ビジネスユーザーコンピューティング

StiLLチャレンジ

おすすめします！